



石神井公園ふるさと文化館特別展

懐かしの風景 ～北原コレクションの世界

と き

9月21日(土)～11月17日(日) 午前9時～午後6時
※月曜休館(祝休日は開館、翌火曜は休館)

と ころ

練馬区立石神井公園ふるさと文化館(石神井町5-12-16)
※西武池袋線石神井公園駅下車徒歩15分

21日から、石神井公園ふるさと文化館で、「懐かしの風景～北原コレクションの世界」を開催する。

ブリキのおもちゃ博物館長・北原照久氏は、東京・京橋出身のおもちゃコレクター。北原氏のコレクションはおもちゃをはじめ、広告ポスター、現代美術品など多岐にわたり、膨大な数に上る。そのコレクションの中から、マスコットやポスター、ノベルティ・グッズ、おもちゃなど、誰もが一度は目にしたことがある懐かしい品々を、「大正・昭和戦前期」「昭和戦中期」「戦後復興期」「高度経済成長期前半」「高度経済成長期後半」の各年代の練馬の写真にあわせて展示する。来場者に懐かしさをより感じてもらえるよう、北原氏と相談してこの展示方法となった。例えば、昭和39年の東京オリンピックに関連したたばこのパッケージや貯金箱と、当時練馬区内で撮影された聖火リレーの写真が並んで展示され、その年代へのタイムスリップを楽しめる。

会期中には、北原氏の講演会およびギャラリートークも行う。観覧料は一般300円、高校・大学生200円、65～74歳の方150円、中学生以下と75歳以上の方無料(その他、割引制度あり)

【主な展示物】

大正・昭和戦前期：セルロイド製の人形、雑誌の付録、家庭用置き薬の袋、お菓子のパッケージ

昭和戦中期：紙製のおもちゃ、戦時中の広告ポスター

戦後復興期：ブリキ製のおもちゃ、カストリ雑誌、駄玩具

高度経済成長期前半：看板、マスコット、ノベルティ・グッズ、電池で動くおもちゃ

高度経済成長期後半：東京オリンピック関連グッズ、大阪万博関連グッズ、着せ替え人形



【会期中のイベント】

◎講演会「コレクションの愉しみ」

とき：10月6日(日)午後2時～4時

講師：ブリキのおもちゃ博物館館長 北原照久

定員：100名(定員に達したため受け付け終了)

※報道関係者向けに席をご用意しております。講演会をお聞きになる場合は、下記の電話番号までご連絡ください。また、講演会終了後、午後4時30分頃から北原氏が本展覧会に関する取材に応じる時間を設けております。

◎「ギャラリートーク」

とき：10月23日(水)・27日(日)午後2時～2時30分

ゲスト：ブリキのおもちゃ博物館館員 早川香恵子

申込：当日会場受け付け(当日の観覧券が必要)



特別展のようす